



モーツァルト「レクイエム」

バイヤー版による



2009 **8/22** (土) 開場 17:30
開演 18:00

北秋田市文化会館 (ファルコン)

主催 鷹巣混声合唱団
後援 北秋田市教育委員会、北秋田市芸術文化協会

演奏会によせて



北秋田市長

津谷 永 光

このたび、指揮者に川口洋一郎先生、合唱に東松山ユンゲルコール、オーケストラに弘前交響楽団をお迎えし、鷹巣混声合唱団モーツァルト「レクイエム」演奏会が、100名を超える方々により盛大に演奏されますことは、団員各位にとりましても念願達成となり、誠に同慶に堪えません。

鷹巣混声合唱団は、今年で58年目を迎えますが、発足から本日の演奏会で31回目を数え、歴史と実績のある地域の合唱団として日々練習に励まれ、定期演奏会や文化祭、各種コンサートを通じて活動しておられます。団発足から既に半世紀を超え、現在、団員25名により隆々とその伝統を守りそして築いておられます。

私事で恐縮ですが、東京から帰郷した昭和50年代前半、鷹巣混声合唱団に入団し、現在もご活躍されている団員の皆さんとともに活動した記憶が甦ります。当時、本日指揮をとられる川口先生が鷹巣高校に勤務しておられたご縁から、地元の合唱団の指導にもあたっていたいただき、私自身も大変お世話になった方であり、若き日の懐かしい思い出であります。

また、川口先生のご指導により、合唱コンクール東北大会へも出場し、その際、混声合唱組曲「水のいのち」を合唱したことは鮮明に記憶に刻まれており、同じ曲を本日、この会場で演奏していただけたこと、レクイエム同様楽しみにしているところであります。

結びに、本日の演奏会開催にあたりご尽力されました齊藤団長様はじめ団員の皆様ならびに共演者各位に対しまして、心から感謝を申し上げますとともに、鷹巣混声合唱団が本日の演奏会を契機にますますご活躍されますようご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

鷹巣混声合唱団主催による

「モーツァルト」レクイエム演奏会に寄せて



東松山ユンゲルコール主宰
主席指揮者

小 山 貞 子

私ども東松山ユンゲルコールは埼玉県の東松山市と云う古い歴史のある町からやって参りました。

東北は私達の憧れの地でした。元団員の下倉さん経由で「鷹巣混声合唱団」より打診を戴きました時、団員一同喜んでお受け致しました。

東松山ユンゲルコールは創立以来48年目になりますが、今は病床にあります主人と二人三脚で合唱団の指導をして参りました。結成当時の団員は全員若者達で、私達は父親、母親のような心で接して参りまして48年を経過した今でもその雰囲気から抜け出せずしております。

常に和気藹々とした練習風景ですが、ひとたびステージに立つとその集中力は大変なものです。

音楽の表現は心の現れである事を忘れずに、技術も磨き、人格的にもノーマル(自分で思っている)な人間性を保って集まっております。

合唱団のモットーは「愛し合い、許しあい、助け合って皆が家族」です。本日、当地にお伺いして、また新しいお仲間が増えたことに団員一同心から喜んでおります。

本日の演奏もさり乍ら、これからも関東の地の東松山を皆様のお心にお預め戴き、お互いの友情を育てて行けますよう心から祈っております。

今回は合同演奏会にお招き戴き、本当に有難う御座いました。

感謝と共に。

演奏会によせて



鷹巣混声合唱団代表

斉藤 郁夫

本日は、ご多用中にもかかわらずご来場くださりまして、誠にありがとうございます。

私ども鷹巣混声合唱団は、結成しましてから58年目を迎えることができ、思い出として忘れることのない幸せな時間を体験することができました。

このたびのコンサートは縁がございまして、埼玉県の「東松山ユンゲルコール」の皆様のご支援をいただき、一緒に演奏会を開催できましたことを、大変うれしく喜んでおります。

東松山ユンゲルコールは、関東一円で活動されている卓越した合唱団でございます。私ども地方におるものにとりましては一緒に活動する機会はもちろんのこと、その合唱を聴くことはかなわぬことなのです。今回の演奏会で東松山ユンゲルコールの合唱を皆様にお届けできることも、またとない幸せと思っております。

このたびの演奏会では、念願でありましたモーツァルトのレクイエム全曲を演奏することにしました。「全曲を管弦楽の伴奏で皆様に聴いていただきたい」という願いがかなない今日の運びとなりました。

管弦楽は弘前交響楽団の皆様がお引き受けくださいましたし、合唱は東松山ユンゲルコールはもちろん、大館男声合唱団の方や秋田カンパネラコールの方、コーロ・プリムローズの方など、ご協力を申し出てくださいました多くの方のご支援をいただいております。

ご協力、ご支援くださいました皆様には、心より厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

鷹巣混声合唱団が58年という永い間活動し続け第31回目の演奏会を開催できますことは、ひとえに音楽を愛する皆様方のご理解とご支援の賜と存じ衷心より感謝申し上げます。

このたびは、真夏の夜のひとときにふさわしい詩情豊かな合唱づくりを目指して励んでまいりました。モーツァルトは言うまでもありませんが、親しみやすい組曲にも取り組んでおります。

今宵はどうぞ、心ゆくまで合唱を楽しんでいただきますようご案内申し上げ、お礼の言葉といたします。

ごあいさつ



指揮者

川口 洋一郎

私は、昭和48年から60年までの12年間を鷹巣町で生活しました。若かった私にとっては、鷹巣で出会った方々は刺激的で、しかも大変意欲的でした。彼らは豊かな音楽文化を展開しておりました。そのような豊かで意欲的な人材に恵まれ、県北地区での管弦楽との共演や、メサイヤ公演など、実現することが出来たのです。立派なホールも無く音響の悪い体育館での演奏が殆どでしたが、音楽に対する熱意と真摯な取り組み姿勢は、現在よりも豊かであったかもしれませんが。私にとって、第二の故郷とも言えるこの地での経験は、私の音楽の礎となり、大切な宝物なのです。

今回指揮をすることになったのモーツァルトの「レクイエム」は、バイヤー版を使用しての演奏です。私の無理なお願いに答えて下さった、鷹巣混声合唱団の皆様、そして、埼玉東松山市のユンゲルコールの皆様にご心から感謝申し上げます。今回の演奏を通して、私の大きな感謝の気持ちが伝わることをできますよう、精一杯心を込めて演奏したいと思います。

Program

【 I 部 】

鷹巣混声合唱団

指揮 齋藤 博生
ピアノ 土濃塚 眞知子

混声合唱組曲「水のいのち」より

作詩 高野 喜久雄・作曲 高田 三郎

1. 雨
2. 水たまり
5. 海よ

東松山ユンゲルコール

指揮 岩 渕 悦子
ピアノ 小 島 慶子

混声合唱のための組曲「蔵王」より

作詩 尾崎 左永子・作曲 佐藤 眞

1. 蔵王讃歌
2. 投げよう林檎を
6. 雪むすめ
7. 吹雪
9. 早春

【 Ⅱ 部 】

レクイエム 二短調 KV 626 モーツァルト

指揮 川口 洋一郎
合唱 鷹巣混声合唱団
東松山ユンゲルコール
コーロ・プリムローズ
オーケストラ 弘前交響楽団

- | | |
|------------------------|-------------------|
| I. INTROITUS , Requiem | IV. OFFERTORIUM |
| II. KYRIE | Nr. 1 Domine Jesu |
| | Nr. 2 Hostias |
| III. SEQUENZ | V. SANCTUS |
| Nr. 1 Dies Irae | |
| Nr. 2 Tuba Mirum | VI. BENEDICTUS |
| Nr. 3 Rex Tremendae | |
| Nr. 4 Recordare | VII. AGNUS DEI |
| Nr. 5 Confutatis | |
| Nr. 6 Lacrimosa | VIII. COMMUNIO |

モーツァルト作曲「レクイエム」について

いわゆる「モツレク」は未完成の作品なのに、どうして「未完」の表示が出ないのでしょうか？シューベルトの交響曲第8番を「未完成」というように…。

このように、21世紀の今、「モツレク」は相変わらず物議を醸しているのです。

モーツァルトは、このレクイエムを完成せずに世を去りました。前金で半額の25ドゥカーテンを受け取っていたので、妻のコンスタンツェはあわててしまいました。なんとしても完成させ、残りの25ドゥカーテンを受け取ろうと策を弄したのです。自筆譜は生前モーツァルトが高く評価していた弟子ヨーゼフ・アイブラーの手に渡りましたが、彼はまもなく放棄、その後、アベ・マクシミリアン・シュタラーがこの仕事を引き継いだものの、これもまもなく放棄してしまいました。そして最後の最後に、ジェスマイヤーが呼び出されることとなります。ジェスマイヤーは写譜が上手で、モーツァルトの自筆譜そっくりに模倣できたと言われています。コンスタンツェが彼を選んだ理由はこのあたりにありそうです。いずれジェスマイヤーは予定の2月末までにスコアを完成させます。モーツァルトの筆跡をまねて表紙も付けました。そして依頼人のヴァルゼック伯爵に渡しました。喜んだヴァルゼック伯爵は、このスコアを自分でまる写しをして、さらには自分の名前で署名をして公開演奏しようとしたのでした。この伯爵、どうもこの手で多くの作品を演奏してきた詐欺師のような人だったようです。

ジェスマイヤーの仕事に関しては様々な意見があって、賛否両論です。しかしながら、長くモーツァルトの元で秘書のような仕事をしてきた関係から、様々な情報が彼の元にあったに違いない、という考えで多くの演奏家は、彼の仕事を支持してきたのです。

今回演奏するフランツ・バイヤー版は、ジェスマイヤー版を基本にしたうえで、和声やオーケストレーションについてのジェスマイヤーの誤りを、慎重に修正したものです。

いずれ、サンクトゥス以下の247小節はジェスマイヤーの手になったものとしても、アニュス・デイからは、確かにモーツァルトが登場しているのを感じることが出来るはずです。アーノンクルのCDにもあるように、私たちも演奏会のタイトル表記を確かなものになりたいと思います。

ヴォルフガング・アマデウス モーツァルト《レクイエム》二短調K.626(未完) フランツ・クサーヴァー・ジェスマイヤーによる完成版[フランツ・バイヤーによるオーケストレーション改訂版] 使用ボーカルスコア:ペーターズ版

川口 洋一郎

レクイエム 二短調 KV626
Requiem d-moll KV626

INTROITUS

Requiem
Requiem aeternam dona eis, Domine :
er lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem :
exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis,
Domine, et lux perpetua luceat eis.

入祭唱
レクイエム
主よ、かれらに永遠の安息をあたえ、
絶えざる光もて照らしたまえ。
シオンにて主に讃の歌を捧げ、
エルサレムにて誓願を果たしますつる。
わが祈りを聴きたまえ、
すべての肉の身を主に帰せられたまえ。
主よ、われらに永遠の安息を与えたまえ。
絶えざる光もて照らしたまえ。

KYRIE

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

キリエ
主よ、憐れみたまえ。
キリスト、憐れみたまえ。
主よ、憐れみたまえ。

SEQUENTIA

Dies irae
Dies irae, dies illa
Solvat saeculum in favilla :
Teste David cum Sibylla
Quantus tremor est futurus,
Quando iudex est venturus,
Cuncta stricte discussurus !

セクエンツィア
怒りの日
怒りの日、かの日に
世はすべて灰に帰さん
ダヴィドとシビラの証せしごとく。
その震さや如何ばかりならん
降きてのやかて来りまして
万の事ごとく厳しく罰したまわば！

Tuba mirum

Tuba, mirum spargens sonum
Per sepulcra regionum
Coget omnes ante thronum
Mors stupebit et natura,
Cum resurget creatura,
Judicanti responsura
Liber scriptus proferetur,
In quo totum continetur,
Unde mundus judicetur.
Iudex ergo cum sedebit
Quidquid latet, apparebit :
Nil inultum remanebit
Quid sum miser tunc dicturus ?
Quem patronum rogaturus,
Cum vix justus sit securus ?

妙なるラッパの
妙なるラッパの響き
全土の墳墓に鳴りわたらば
ものみな王座の前に集り集めらる。
死も自然も驚かん
すべての造造物はよみがえり
審きてに答えればなり、
その時書物は差し出されん
すべてはそこに書き記され
世の一切が露かたてあらん
かくて審判者の座したまうとき
隠れたること、すべて露れ
報いられざること一つとしてなからん。
その時誰れなるわれ、何をか云い
誰をか弁護者と仰がらん
救しきものすらし心安からざる時に、

Rex tremendae

Rex tremendae majestatis,
Qui salvandos salvas gratis,
Salva me, fons pietatis.

みいつの大王
仰ぐも畏しき、みいつの大王
救わるるもの思ひもて、救いたまう
われをも救いたまえ、慈悲の泉よ！

Recordare

Recordare, Jesu pie,
Quod sum causa tuae viae :
Ne me perdas illa die
Quaerens me, sedisti lassus :
Redemisti Crucem passus :
Tantus labor non sit cassus.
Juste iudex ultionis,
Donum fac remissionis
Ante diem rationis.
Ingemisco, tamquam reus :
Culpa rubet vultus meus :
Supplicanti parce, Deus
Qui Mariam absolvisti,
Et latronem exaudisti,
Mihi quoque spem dedisti
Preces meae non sunt dignae :
Sed tu bonus fac benigne,
Ne perenni cremer igne,
Inter oves locum praesta,
Et ab haedis me sequestra,
Statuens in parte dextra.

憶えたまえ
慈悲深きイエスよ、憶えたまえ
天より降りたまはしは、そもわがためなりしを
かの日、われを滅したまわされ、
われをたずねんとて援け
われを贖わんとて十字架を忍びたまはし
かかる御苦力の無駄ならざらんために、
正しき究極の審き主よ
救しの恩恵を与えたまえ
決算の日の来らざるうち、
罪を恥じて、われ顔をあからめ
犯せし罪をわれは嘆く
主よ、ひれ伏して願うわれをゆるしたまえ。
マグダレーナのマリヤを救し
盗賊の罪いを聴きいれし主よ
われにも希望を与えたまえ、
わが祈りはふさわしからわど
審き主よ、慈悲をたれたまいて
われを永遠の火に焼かざらしたまえ。
羊の中にわれを置き
牡山羊よりわれを離して
右方に立たしたまえ。

Confutatis

Confutatis maledictis,
Flammis acerbis addictis :
Voca me cum benedictis
Oro supplex et acclinis,
Cor contritum quasi cinis :
Gere curam mei finis.

呪われしもの
呪われしものを恥じ謝せしめ
烈しき焔に渡したまわん時、
祝されしものとともに、われをも呼びたまえ。
われひれ伏して願うてまつる
灰のごとく砕けし心もて、
わが終末を、計らいたまえ。

Lacrimosa

Lacrimosa dies illa,
Qua resurget ex favilla
Judicandus homo reus.
Huic ergo parce, Deus :
Pie Jesu Domine,
Dona eis requiem. Amen.

涙の日
かの日こそ、涙の目なれ。
その日、灰よりよみがえらん
罪ある人、裁きを受けんとて、
されば主よ、われを憐れみたまえ。
慈悲深き主、イエスよ
永遠の安息を、かれらに与えたまえ。アーメン。

OFFERTORIUM

Domine Jesu
Domine Jesu Christe, Rex gloriae,
libera animas omnium
fidelium defunctorum
de poenis inferni et de profundo lacu :
libera eas de ore leonia,
ne absorbeat eas tartarus,
ne cadant in obscurum :
Sed signifer sanctus Michael
repraesentet eas in lucem sanctam :
Quam olim Abrahae promisisti
et semini ejus.

奉獻唱
主イエス・キリスト
主イエス・キリスト、光栄の王、
死者の信者の靈魂すべてを
陰府の刑罰と
深き淵より救いたまえ、
かれらを獅子の口より救いたまえ。
かれらが地獄に呑みこまれず、
暗黒に陥らざらんため、
強なる聖ミカエルが
かれらを聖なる光へと導かんことを！
かつてアブラハムとその後裔とに
約束したまはし光に！

Hostias

Hostias et preces tibi, Domine,
laudis offerimus :
tu suscipe pro animabus illis,
quarum hodie memoriam facimus :
fac eas, Domine,
de morte transire ad vitam.
Quam olim Abrahae promisisti et
semini ejus.

犠牲と祈り
讃美の犠牲と祈りを主に捧げまつる。
かれらの霊のため、これを受けたまえ。
今日われらが追悼する
かれらの霊のため、
主よ、かれらをして、
死より生に移らしめたまえ。
かつてアブラハムとその後裔に
約束したまはし生に。

SANCTUS

Sanctus, Sanctus, Sanctus
Dominus, Deus Sabaoth.
Pleni sunt caeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

聖なるかな
聖なるかな、聖なるかな、
聖なるかな、
万軍の主なる神、
主の光栄は天地に充ち満ちり、
いと高きところにホザンナ。

BENEDICTUS

Benedictus, qui venit in nomine Domini
Hosanna in excelsis.

祝せられたる主
主の御名によりて来りたまう者は祝せられたる主、
いと高きところにホザンナ。

AGNUS DEI

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi :
dona eis requiem.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi :
dona eis requiem sempiternam.

神の小羊
世の罪を除きたまう、神の小羊
安息をかれらに与えたまえ。
世の罪を除きたまう、神の小羊
永遠の安息をかれらに与えたまえ。

COMMUNIO

Lux aeterna
Lux aeterna luceat eis, Domine :
Cum Sanctis tuis in aeternum :
quia pius es.
Requiem aeternam dona eis, Domine :
et lux perpetua luceat eis.
Cum Sanctis tuis in aeternum :
quia pius es.

コムニオ
絶えざる光もて
主よ、絶えざる光もてかれらを照らしたまえ。
主の聖人とともに永遠にあらしたまえ。
主は慈しみ深くいませばなり、
主よ、かれらに永遠の安息を与えたまえ。
絶えざる光もて、かれらを照らしたまえ。
主の聖人とともに永遠にあらしたまえ。
主は慈しみ深くいませばなり。

Profil

Soprano

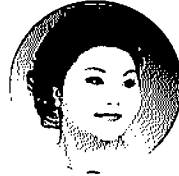


川口洋一郎

Alto



萩原 みか



黒澤 麻美

Tenore



伊東 大智

Bass



山木 亮

川口洋一郎

声楽を石井忠吉、築地利三郎各氏に師事。指揮を前田幸市郎、黒岩英臣各氏に師事。

現在フランスエコー桜、秋田男声合唱団を指導している。昭和60年から平成16年までの20年間、秋田市管弦楽団の指揮を担当した。鷹巣では、昭和48年から昭和60年までの12年間、鷹巣高校に勤務し吹奏楽の指導で東北大会出場などの実績を上げ、鷹巣混声合唱団、鷹巣室内合奏団の指導、指揮を担当した。

平成14年木内音楽賞受賞。東京交響楽団、ミラノ室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団等のプロオケとも共演。

秋田男声合唱団の創立から音楽監督及び指揮者に就任以来指導を続けている。男声合唱作品の普及紹介に努め、これまでシューベルト作曲「水上の聖堂の歌」、高田三郎の合唱組曲「水のいのち」男声合唱版、ブラームス「ドイツ民謡集」、マーラー「さすらう若人の歌」男声合唱版、など秋田では初めての演奏を行ってきた。

高校で教師を続ける傍ら、管弦楽、オペラの指揮も執り、交響曲や協奏曲を始め創作オペラ「ねぶり流し物語」の公演で指揮者として活躍した。また秋田市での、ベートーベン作曲交響曲第9番「合唱付」の連続公演にあたっては外山雄三、堤俊作、ファルカ・レニッケ、十束尚宏、などの副指揮としてオーケストラや合唱の指導を担当した。

また、第9公演や宗教曲の演奏会でのソリストの他アトリオンでの2回のリサイタル、秋田県民オペラ公演では、「フィガロの結婚」のタイトルロール、「あまんじゃくとうりこ姫」のじっさ、「アマールと夜の訪問者」のバルタザール王、「ねぶり流し物語」の殿様、など性格的な役柄を好演している。この度、2009年8月、北秋田市鷹巣においてモーツァルト作曲「レクイエム」を指揮するが、2010年4月には、秋田市に於いてケルビーニ作曲、「男声合唱のためのレクイエム」を指揮する予定。

萩原 みか

東京音楽大学声楽演奏家コースを卒業。同大学院修了後オーストリアに留学。

オーストリア国立モーツァルトテウム音楽院オペラ科修士課程終了。フィナーレ・リグレ国際音楽コンクール第三位。紀尾井ホールにおいて初のソプラノリサイタルが好評を博す。モーツァルト「フィガロの結婚」、モーツァルト「魔笛」、メンデルスゾーン「エリヤ」、モーツァルト「レクイエム」などのソリスト。日韓アジアリーグアイスホッケー開幕式において「君が代」斉唱、その他、東京フィルハーモニー交響楽団等と多数共演。

昨年10月、熊谷さくらめいとにて、ソプラノリサイタルを開催。小山貞子、成田絵智子の各氏に師事。五月会会員、ユンゲルコールパートリーダー。現在、二期会会員、東京音楽大学、同付属高校、県立大宮光陵高校音楽科、県立伊奈学園総合高校講師。

黒澤 麻美

東京音楽大学付属高等学校、東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。同大学院修了後オーストリアのウラジオストク芸術大学大学院を首席で修了。小山貞子、成田絵智子、安達さおり、V.ヴァローニン各氏に師事。

第43回全日本学生音楽コンクール高校の部・東京大会第1位。ウラジオストク青年国際音楽コンクールグランプリ及び現代歌曲最優秀歌唱賞受賞。キエフ国際音楽コンクール第1位。

大学院在学中より、ロシア国内の歌劇場にて芸術祭、音楽祭に出演。ロシア国立ヤクーツク歌劇場にて、「皇帝の花嫁」マルファ役でデビュー。日本総領事館主催のリサイタルやコンサート、映画祭でのセレモニー演奏等多数出演し、主にロシア沿海州を中心に活動。

2006年より拠点を日本に移し、東京にてロシア歌曲・ロシアオペラアリアのリサイタルを定期的に開催。また、合唱で日本各地、韓国、ヨーロッパで著名な指揮者・オーケストラと共演し、コンクールで数々の賞を受賞している五月会（埼玉県東松山市）ユンゲルコール・フラウエンコールのパートリーダー及びソリストとして在籍。現在、東京音楽大学及び大学院講師。黒澤麻美ロシア声楽曲研究会主宰。五月会会員。二期会会員。ウラジオストク室内歌劇場専属歌手。

伊東 大智

本北高等学校卒業。新潟大学卒業。同大学院修了。第16回大曲新人音楽祭コンクール優秀賞受賞。池辺晋一郎作曲「てかがみ」（初演）ジョン・ターナー役でオペラデビュー。ロータリー財団国際親善奨学生としてイタリアに短期留学。東京室内歌劇場会員、東京オペラプロデュースメンバー、及川音楽事務所所属、日本声楽アカデミー准会員。

山木 亮

秋田大学教育学部音楽科卒業。声楽を築地利三郎、河瀬柳史氏に師事。

オペラでは「アマールと夜の訪問者」（メノッティ作曲）の従者、秋田市建都四百年記念創作オペラ「久保田城下町 押し花の愛」（鳥井俊之作曲）の太一、秋田市市制百周年記念オペラ「ねぶり流し物語」（鳥井俊之作曲）の殿様、若者、「フィガロの結婚」（モーツァルト作曲）のフィガロ、バルトロ、「カルメン」（ビゼー作曲）のズニガを演じている。

演奏会では「交響曲第九番合唱付き」（ベートーベン作曲）のソリスト、「レクイエム」（フォーレ作曲）のソリストとして出演。現在、八峰町立八森中学校教諭。

東松山ユンゲルコール

埼玉県東松山市を拠点として、合唱団の運営、地域における音楽普及啓発活動、音楽家志望者への後援などの音楽活動を行なっている「五月会」という非営利の団体がある。

五月会では幼児から社会人までの様々な形態の合唱団を運営しており、東松山ユンゲルコールはその中核をなすアマチュアの混声合唱団である。

小山伸・貞子夫妻の教え子を中心に30数名で発足し、現在団員数60数名、創立47年になる。結成以来、全日本合唱コンクール全国大会に関東地区代表として通算10回、連続8回出場し、入賞を果たしている。

主なコンサートとしては、昭和61年学習院大学記念会館で小澤純指揮、新室内管弦楽団とモーツァルト「レクイエム」、平成5年ドイツのミューラウ・ロートの2箇所の大聖堂でフォークランドフィルハーモニーと「メサイア」全曲演奏。平成7年東京芸術劇場で東京ユージェントオーケストラとヴェルディ「レクイエム」共演。

平成9年韓国ソウルの芸術の殿堂でソウルバッハクワイヤーとジョイントコンサート。平成10年東京紀尾井ホールで幸田弘子氏聖書朗読、弘中孝氏ピアノ伴奏、高橋啓三氏バス独唱によるメンデルスゾーンのオラトリオ「エリア」演奏。平成12年小澤純氏指揮、東京音楽協会管弦楽団とグノーの「聖セシリアの為の荘厳ミサ曲」平成15年フォーレ「レクイエム」と「ラシーヌの雅歌」。平成16年にはヘンデル「メサイア」全曲演奏などがある。



副指揮者
岩瀨 悦子

東京音楽大学声楽演奏家コースを卒業。同大学大学院声楽専攻修了。第48回全日本学生音楽コンクール（高校の部）東京大会入選。第2回「万里の長城杯」国際音楽コンクール声楽・大学の部第3位入賞。在学中にザルツブルグ・モーツァルトウム音楽院国際サマーアカデミーに参加。学内オペラ公演にてモーツァルト「フィガロの結婚」（伯爵夫人）やヴェルディ「アイダ」に出演。メンデルスゾーン「エリヤ」、モーツァルト「レクイエム」などにおいてもソリストを務める。これまでに小山貞子、成田繪智子、高橋啓三、林ひろみ、野村陽子の各氏に師事。



ピアノ
小島 慶子

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学院修了。その後も講習会、マスタークラスにて研鑽を積む。これまでに小山久子、故・中島和彦、海老沼直美、前島園子、弘中孝の各氏に師事。ピアノリサイタルや室内オーケストラとの伴奏者としても幅広く活動している。現在、茨城県立取手松陽高等学校音楽科非常勤講師。五月会会員。東松山ユンゲルコール伴奏者。

弘前交響楽団

弘前交響楽団は、弘前市に活動拠点を置く、アマチュアオーケストラです。昭和63年10月24日、弘前市市制施行百周年を契機として、弘前市やたくさんの市民の皆さんのご支援により、結成されました。

平成元年4月1日、弘前市市制百周年記念 第1回定期演奏会を開催。翌年の平成2年から、夏のサマーコンサートと冬の定期演奏会の年2回の演奏会を毎年開催してきました。

また、定期の演奏会だけではなく、青森県民文化祭への参加や、ライオンズクラブ等の記念式典での賛助演奏などの活動もしています。

更に、平成14年のサマーコンサートから、小学生を無料で招待したり（サマーコンサートのみ）、平成16年からは障害者の方も無料で招待するなど、地域の皆さんに気軽にクラシック音楽を楽しんでいただくための活動もしています。

団員は82名（平成21年5月現在）、弘前市内だけではなく、近隣の市町村から参加している団員もたくさんいます。

弘前市民の皆さんはもちろん、近隣の市町村の皆さんにまで、広く愛されるオーケストラを目指して、これからも演奏活動を続けていきたいと思っております。

出演者

【指揮】 川口洋一郎
 【ソリスト】 【ソプラノ】 萩原 みか 【アルト】 黒澤 麻美 【テノール】 伊東 大智 【バス】 山木 亮

弘前交響楽団

【1stバイオリン】 二川原 静 工藤 晶子 熊谷 啓幸 酒井 恵史 白鳥 俊治
 千賀 晶恵 二川原 健 本多真知子
 【2ndバイオリン】 木田 透 佐藤明日香 田村まり子 津田かおり 野里 和廣
 福川 和美 三ツ橋千里
 【ビオラ】 大本 直樹 尾坂 毅 久保紗由美 近藤 智真 西崎 紀
 【チェロ】 菊地謙太郎 永田紀四郎 永田 和 藤田 豊彦
 【コントラバス】 千葉 秀明 毛内 裕三 若佐谷保仁
 【クラリネット】 櫛引美穂子 今 沙絵子
 【ファゴット】 勘林 稚菜 庭山 紀子
 【トランペット】 烏谷部稚子 宮脇 康弘
 【トロンボーン】 岡根 雄 築館 恒 本田 純一
 【ティンパニ】 須藤 孝二

東松山エンゲルコール

【主宰・主席指揮者】 小山 貞子
 【副指揮者】 岩淵 悦子
 【伴奏者】 小島 慶子
 【ソプラノ】 磯崎由生子 伊東 敦子 岩田 和子 岩淵 悦子 大友 有
 岡本 知恵 栗原 弥生 島田裕里子 鈴木 晴子 堤 智子
 中村ちひろ 野口 陽子 萩原 みか 山田沙綾香
 【アルト】 浅見 吉香 池上美智子 岩崎 友子 内野 愛美 大山 裕美
 小田 了子 菊池 玲子 木下 延子 黒澤 麻美 小室 昭代
 菅田 浩子 鈴木 亮子 トーマット桃子 中村さやか 福島 栄
 【テノール】 伊東 良勝 古賀 武文 鈴木 栄治 田嶋 謙三 利根川 實
 中村 昭司 原田 政洋 堀籠 邦明 町田 博 松永 斉吾
 横山 暁 横山 努
 【バス】 飯笹 久 池永 京 岩田 正行 岩淵 章久 内野 一男
 金井 仁 古賀 淳一 菅田 正徳 福島 順

鷹巣混声合唱団

【指揮】 齋藤 博生
 【ピアノ】 土濃塚真知子
 【ソプラノ】 岩谷 法子 小坂キヌエ 杉淵 路子 田口 睦子 戸田テイ子
 成田智華子 畠山 智子 盛岡 幸子
 【アルト】 伊藤クニ子 加藤三恵子 佐藤マリ子 津谷 明子 新田 悦子
 三浦 恵子 三沢 順子
 【テノール】 石郷岡修一 九嶋 良 下倉 宏 藤嶋 政之 嶺脇 裕徳
 【バス】 小林 秀雄 齊藤 郁夫 福田 広幹 山本 順貴

コーロ・プリムローズ

【ソプラノ】 石塚 輝子 加賀谷春江 下田 悦子 須藤 博子 田口 敏子
 吉田 恭子
 【アルト】 久米ノリ子 守屋三洋子